

# macroswap パッケージを試してみる

アセトアミノフェン

2015 年 1 月 11 日

簡単な例として、以下のように定義します：

```
\newcommand{\myfirst}{First}  
\newcommand{\myend}{End}
```

すなわち `\myfirst` で `First` が出力され、`\myend` で `End` が出力されます。

試しに一度出力してみます：`FirstEnd`（ここでは `FirstEnd` と出ているはずですが）

ここで `macroswap` パッケージの `\macroswap` や `\gmacroswap` を使います。このコマンドは引数を 2 つとり、それぞれの引数にはマクロ名を指定します。`\macroswap` や `\gmacroswap` が記述されると、以降で 2 つのマクロの名称が逆転します。

- `\macroswap` は `\begingroup` と `\endgroup` の間に書かれていれば、そのグループ外では無効
- `\gmacroswap` は以降のマクロ名をグローバルに変更

という違いがあります。

まずは `\macroswap` を試します：`EndFirst`（ここでは `EndFirst` と出ているはずですが）

グループの外では `FirstEnd` に戻っているはずですが：`FirstEnd`

次に `\gmacroswap` を試します：`EndFirst`（ここでは `EndFirst` と出ているはずですが）

グループの外でも逆転した `EndFirst` のままになっているはずですが：`EndFirst`